

## ■ II 売上データ登録～棚割モデルとの紐づけ～

棚POWERにPOSデータを登録します。  
棚POWERでは、以下の2通りの手順でPOSデータを登録できます。

**【方法1】**  
棚POWER独自のファイル形式にデータを加工してインポート。

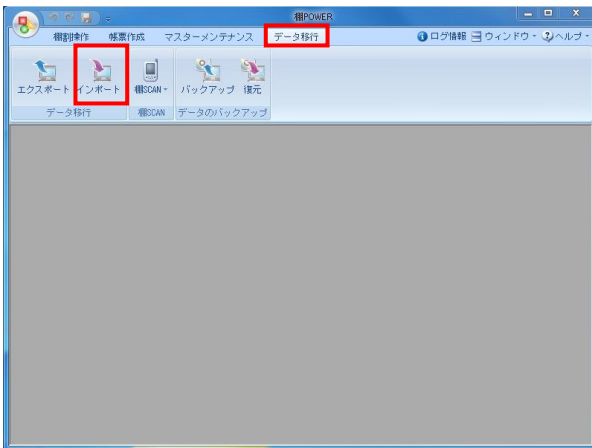
**【方法2】**  
棚POWER独自のファイル形式ではないデータを取込設定し、直接インポート。

棚POWERでは方法2をテキストインポートと呼び、本テキストでは、テキストインポートでPOSデータを登録する手順を説明します。  
POSデータをテキストインポートで登録する場合、読込可能なファイルには下記条件があります。

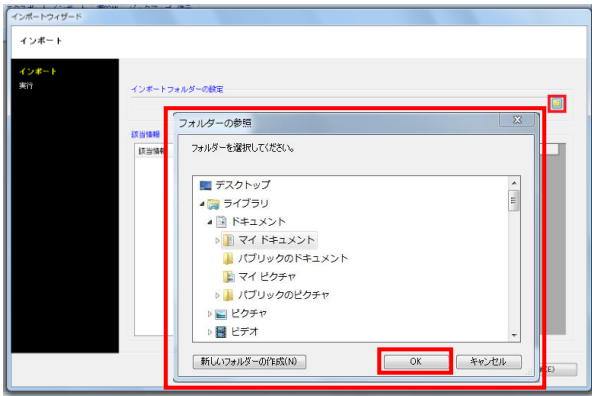
- 条件**
- ・ 各種類のデータが1列に入力されている。
  - ・ ファイル内の1シート目に読み込むファイルがある。

	A	B	C	D	E
1	2015年09月	POSデータ			
2	JANコード	年	月	売上数量	売上金額
3	4901330502911	2015	09	210	20790
4	4901330522841	2015	09	210	20790
5	4901330560720	2015	09	300	36000
6	4901330560737	2015	09	150	18000
7	4901330105105	2015	09	90	8910

### ■売上データ登録

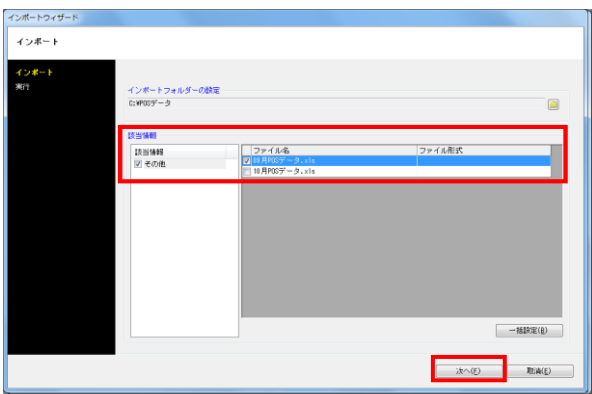


1. 「データ移行」－「インポート」をクリックします。



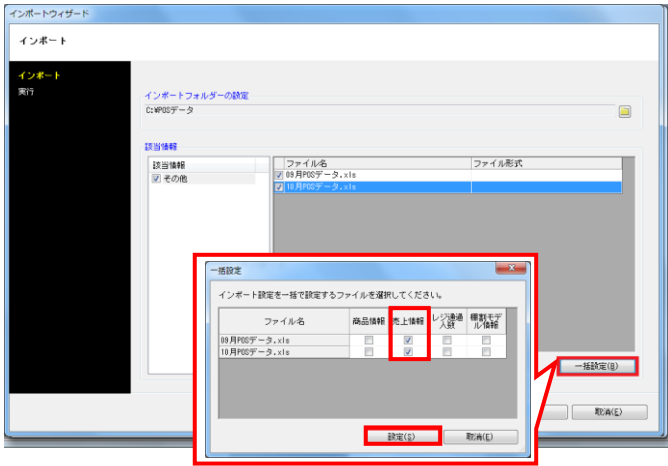
2. 「インポートフォルダの設定」右横のフォルダマークをクリックします。

次にインポートしたいファイルが保存されているフォルダを選択して [OK] をクリックします。



3. 「該当情報」欄内に「その他」と表示されます。表示された「その他」の文字をクリックすると、右側にファイル名とファイル形式が表示されます。

インポートするファイルの左横にあるチェックボックスを有効にして [次へ] をクリックします。



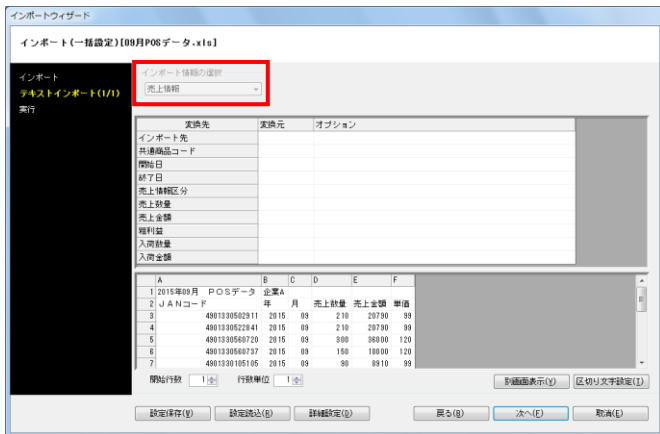
4. 各月、各週のPOSデータが複数のファイルに分かれている場合、一回の作業で取り込むことができます。

【一括設定】で各ファイルのデータの種類を選択します。

棚POWERの「売上情報」にPOSデータを取り込むため、一括設定画面の一覧より「売上情報」を選択します。

**注意**

一括で取り込む場合は各ファイルの書式が統一されている必要があります。

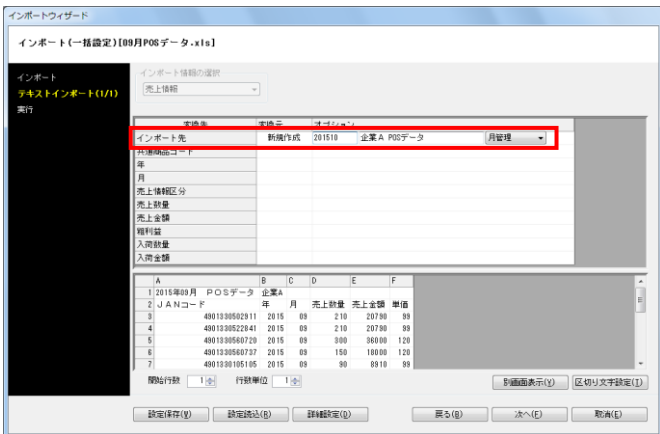


5. 棚POWERの「売上情報」にPOSデータを取り込みます。  
【一括設定】ですでにインポート情報の選択は行なっているため、「インポート情報の選択」項目はグレーになります。

一括設定を行っていない場合は、「インポート情報の選択」で「売上情報」を選択します。

**参考**

画面下部のファイル内容が見辛い場合は、【別画面表示】をクリックすると、別画面でファイル内容を表示します。



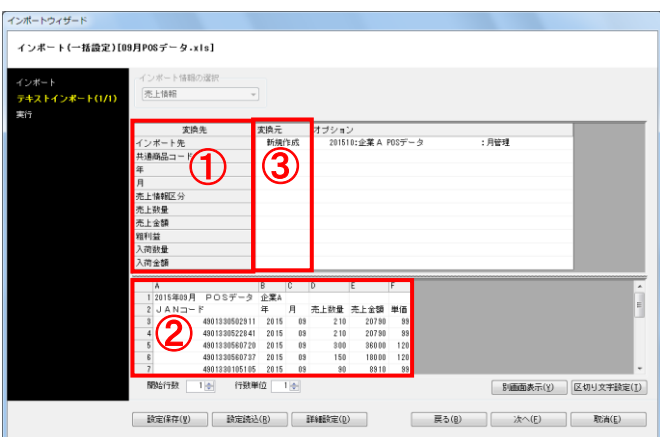
6. 新しく売上情報を登録する場合は「新規作成」を選択します。

「インポート先」の「変換元」の空白をクリックして「新規作成」を選択します。  
オプション欄の文字をクリックして、コードと名称を入力します。コードは最大10桁まで設定できます。

ここでは月ごとのPOSデータが入力されたファイルをインポートするため、期間区分は「月」を選択します。

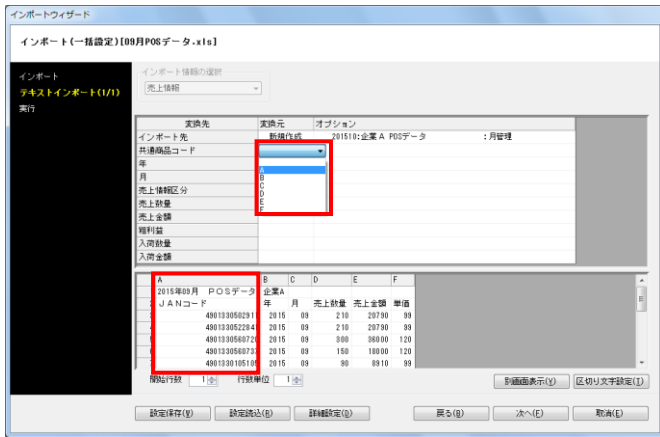
**参考**

POSデータが月ごとであれば「月」、週ごとであれば「週」、四半期や一年単位であれば「期間管理」を選択します。



7. POSデータの取込設定をします。  
左図の①は棚POWERの売上情報の管理項目で、②は読み込んでいるデータのプレビュー画面です。

②に表示されているデータを、①の「変換先」と紐づけるために③の「変換元」で「列」を設定します。

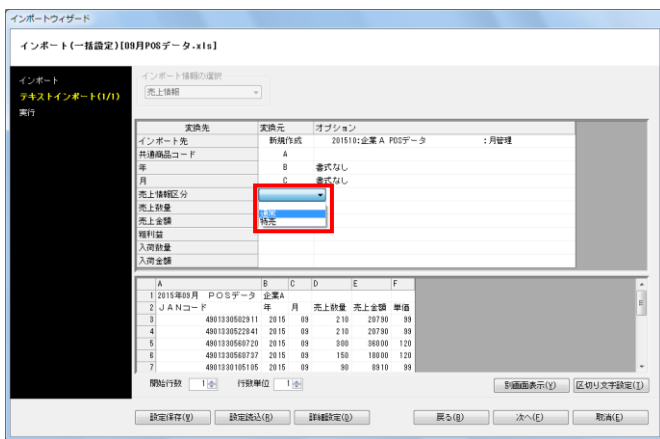


8. 左図では取り込むファイルのJANコードは「A列」に記載されています。

変換先「共通商品コード」横の変換元の空白をクリックして、「A」を選択します。

同じように「年」や「月」のデータが記載されている列を選択します。

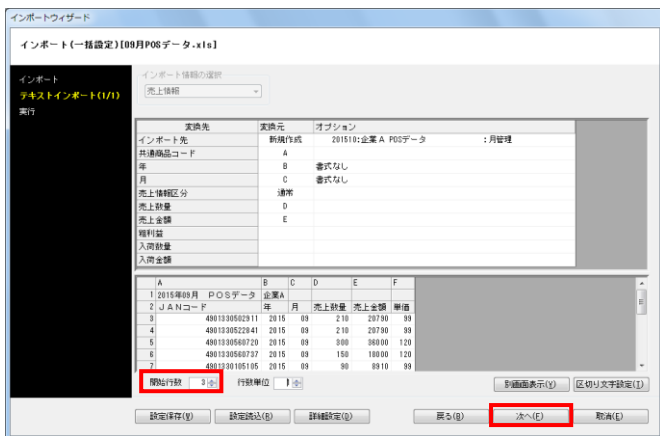
**参考**  
ファイルに「年」や「月」が記載されていない場合は「指定日」を選択し、オプション欄に「年：yyyy」「月：mm」というように入力します。



9. 「売上情報区分」では「通常」や「特売」などを選択して、売上情報を区分けして登録することができます。

ここでは「売上情報区分」を「通常」に設定します。最後に「売上数量」や「売上金額」の変換元を設定します。

**補足**  
たとえばファイル内に「売上金額」の項目がない場合でも、「単価」「売上数量」の項目があれば、変換元で「計算式」を選択し、計算式で「単価×売上数量」を入力して「売上金額」を設定することができます。



10. 変換元の設定後、ファイル内でデータを取り込む範囲などの設定を行ないます。

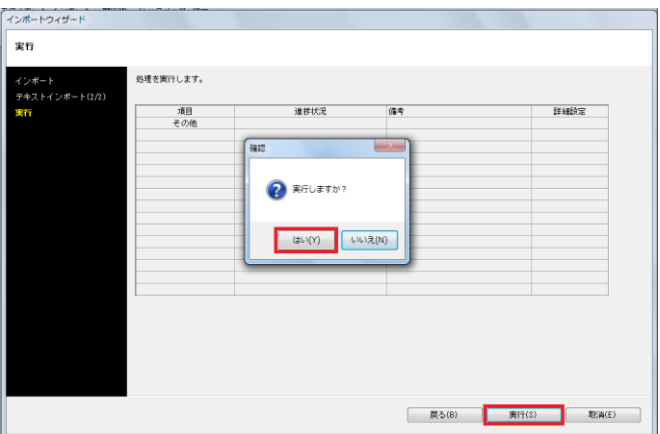
**【開始行数】**

取り込むデータの記載が開始されている最初の行を指定します

**【行数単位】**

1行で1商品ではなく、2行で1商品のデータが入力されているファイル等をインポートする際に行数単位を設定します

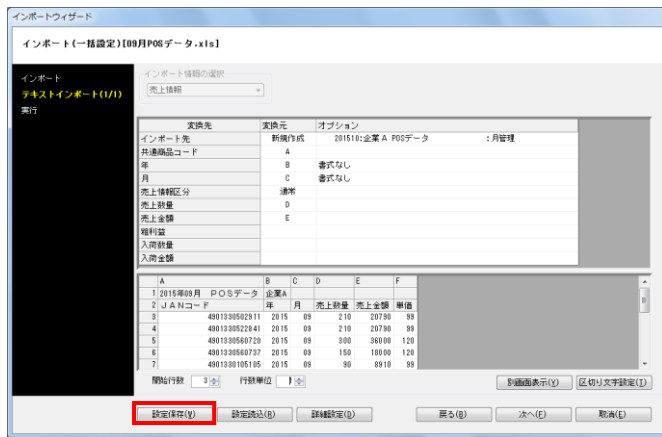
これで、インポートの設定は完了です。[次へ]をクリックします。



11. インポート実行画面が表示されます。  
[実行] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示され [はい] をクリックしてインポートを開始します。

これで棚POWERの売上情報にPOSデータを登録できました。

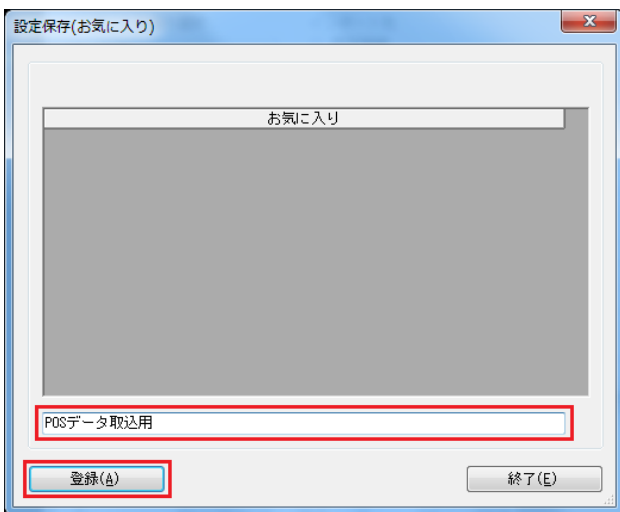
■設定内容を保存する



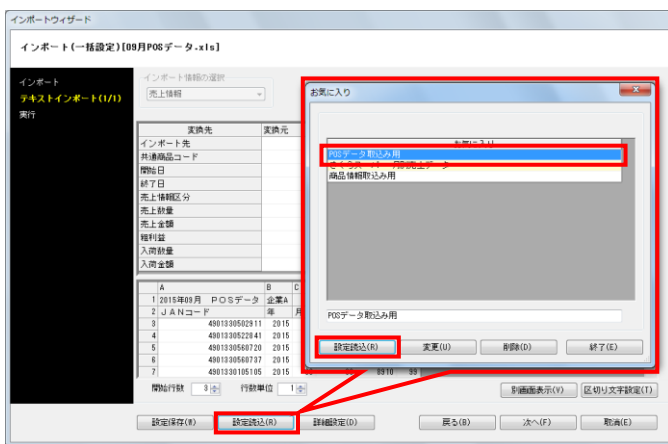
1. インポート時に設定した各項目の設定内容を保存することが可能です。

毎月、同じ書式のPOSデータを登録する場合など、何度も同じ書式のデータをインポートする場合は一度設定した内容を保存しておきます。

設定内容を保存する場合は画面左下の「設定保存」ボタンをクリックします。



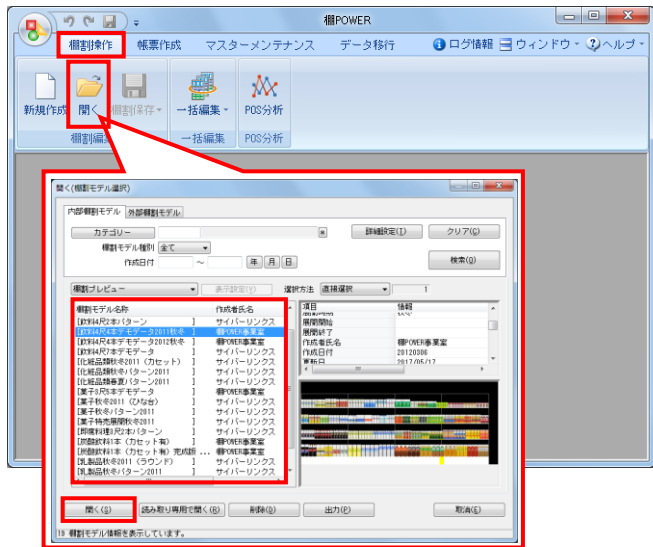
2. テキストボックスに名称を入力して、「登録」をクリックします。



3. 次回インポート時など、設定を反映させたい場合は画面左下の「設定読み込み」ボタンを選択して、お気に入り画面を開きます。

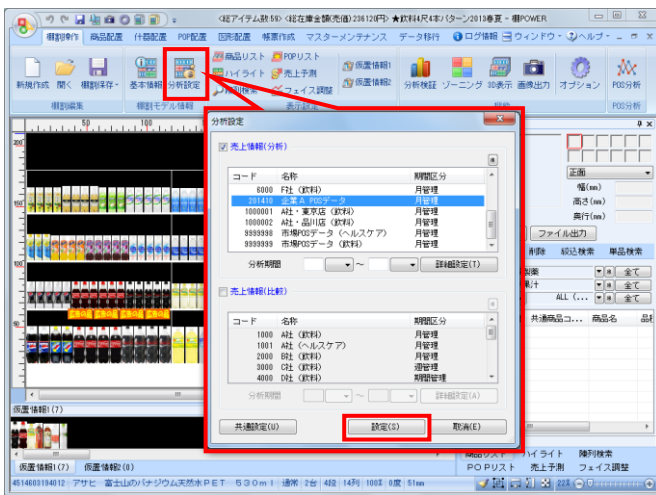
一覧より適用したい設定を選択して「設定読み込み」ボタンをクリックすると設定内容が反映されます。

■分析設定



1. 分析を行なうためには、棚割モデルと登録した売上情報を紐づける必要があります。

[棚割操作] - [開く] より、売上情報を紐づけたい棚割モデルを開きます。

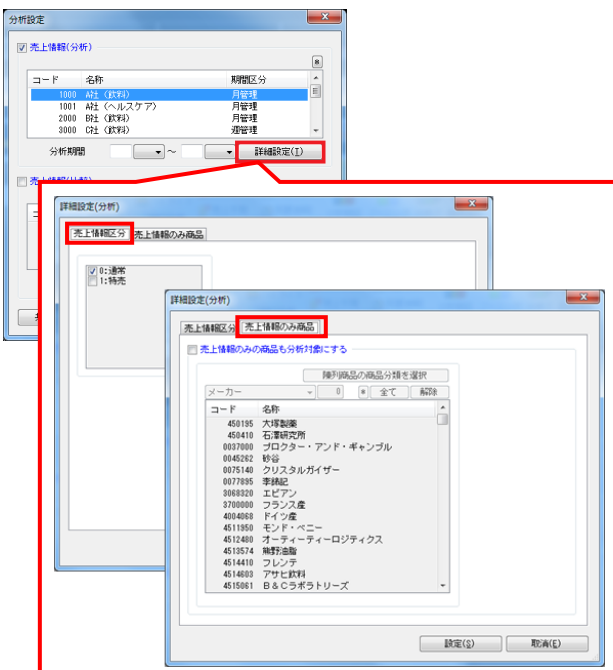


2. [棚割操作] - [分析設定] を選択します。

「売上情報(分析)」を有効にして、紐づけたい売上情報を一覧から選択して [設定] をクリックします。

参考

分析期間の設定あり … 特定期間だけを使用して分析  
分析期間の設定なし … 全期間を使用して分析



3. 分析設定画面にある [詳細設定] では売上情報区分の設定や陳列されていない商品进行分析対象に含めるかを設定できます。

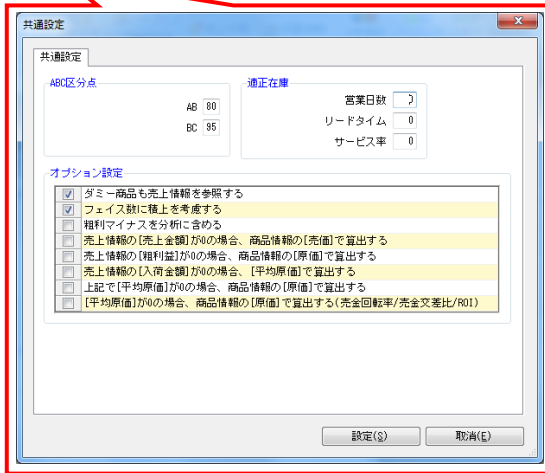
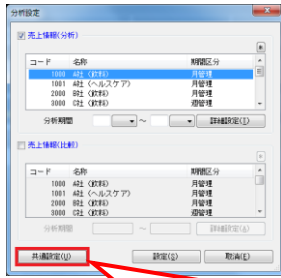
[売上情報区分] タブ

「通常」や「特売」など使用する売上情報の区分を選択します (初期値: 通常)

[売上情報のみ商品] タブ

「売上情報のみの商品も分析対象にする」を有効にすると、売上情報にはあるが、棚割モデルに陳列されていない商品も分析の対象にすることができます

一覧より対象にする商品の分類を選択して絞り込みが可能です。



4. 「共通設定」ではABC区分点の変更やダミー商品にも売上情報を反映させるかの設定ができます。

**【ABC区分点】**

ABC分析時に基準とするABC区分点を変更できます

**参考**

ABC分析でAB=80, BC=95の場合、棚割全体の売上の合計を100%とした時に上位80%までがAランク、81~95%までがBランク、残りがCランクという設定になります。  
詳細はP. 35を参照してください。

**「オプション設定」**

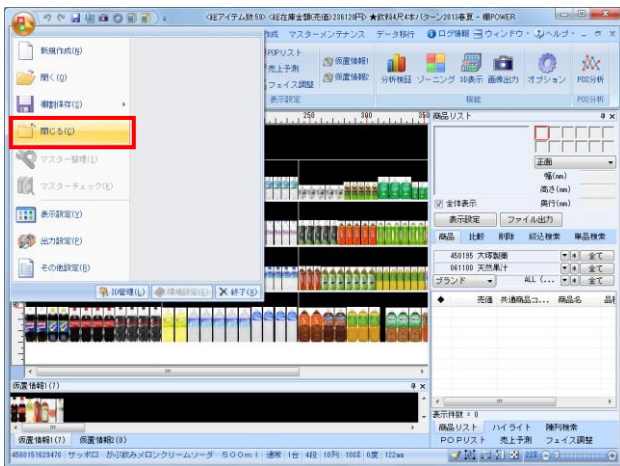
**【ダミー商品も売上情報を参照する】**

有効にすると、売上情報にダミー商品のデータがあれば使えます

**【フェイス数に積上を考慮する】**

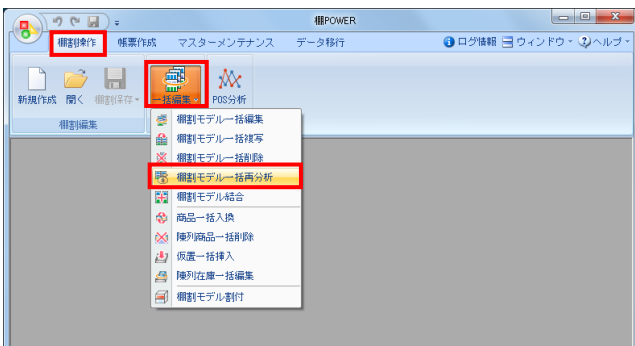
有効にすると、積み上げている商品もフェイス数にカウントします

■棚割モデル一括再分析

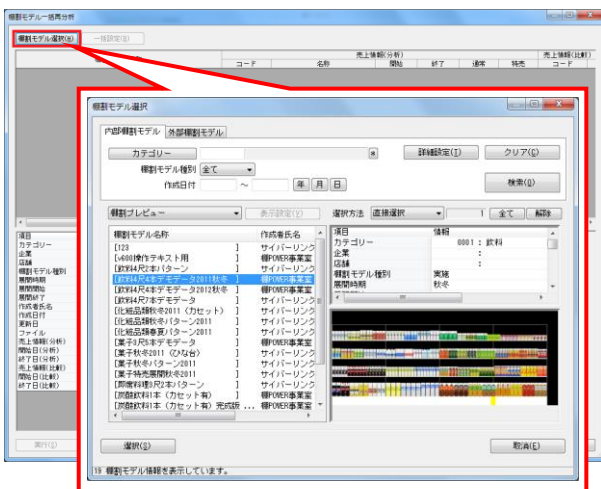


1. 複数の棚割モデルに対して一括で売上情報を紐づけることも可能です。1つ1つモデルを開いて売上情報を設定する手間を軽減できます。

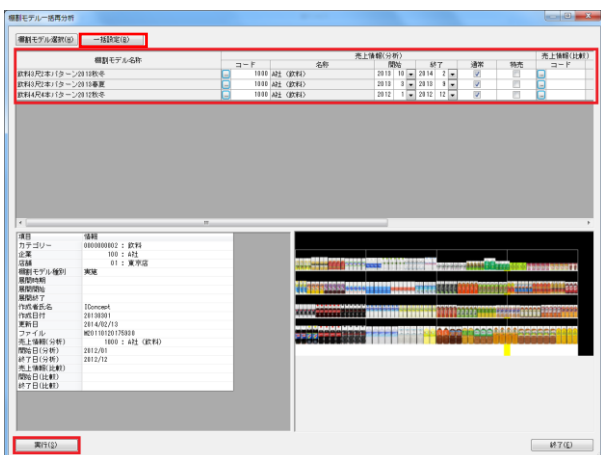
[棚POWERボタン] - [閉じる] より開いている棚割モデルを全て閉じます。



2. [棚割操作] - [一括編集] - 「棚割モデル一括再分析」を選択します。



3. [棚割モデル選択] より対象の棚割モデルを選択します。



4. 棚割モデルに紐づけたい売上情報を設定します。設定後に[実行]を選択すると棚割モデルと売上情報の紐づけは完了です。

選択している棚割モデルすべてに同じ売上情報を紐づけたい場合は「一括設定」を使用します。

次章では棚割モデルと売上情報を用いた分析について説明していきます。